

ぼだいよこて
菩提横手遺跡

秦野市 No.195 遺跡



1. 調査区全景（東から）



2. 旧河道近景（南から）



3. 旧河川近景（北から）



4. 調査区東側北壁断面（南から）

● 主な調査成果

昨年度調査区から続く旧河道を調査しました。旧河道は、葛葉川に沿うように南北方向に主軸を持ち、地山(関東ローム)面を切り込むように発見されています。

調査の結果、この旧河道は東側を流れる葛葉川に向かって傾斜していることが分かり、上層からは宝永火山灰層、下層からは河床礫と思われる礫層が確認されました。旧河道上層からは、近世～近代陶磁器も見つっていますが、宝永火山灰層下位からは縄文土器しか見つかっていません。縄文時代より新しく、宝永火山灰層(江戸時代)より古い葛葉川の旧河道そのものと推定されます。

- 調査期間 2016年9月1日～2022年9月30日
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生、縄文
- 所在地 秦野市菩提
- 遺跡位置 小田急小田原線渋沢駅から北東に約4kmの菩提盆地北縁、丹沢山麓の葛葉川段丘上

